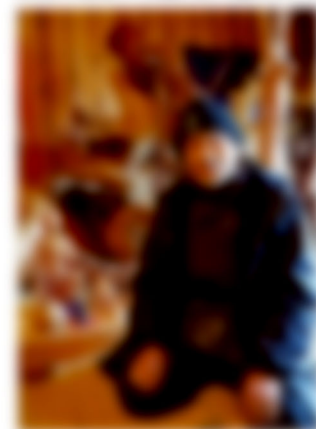


ほれ、うごいてええ！



「家族を大切にしたい」という思いが、家づくりの原点。家族の絆を大切にしたいという思いが、家づくりの原点。家族の絆を大切にしたいという思いが、家づくりの原点。

竹に壊れぬ家づくりの秘訣は、家族の絆を大切にすること



「家族を大切にしたい」という思いが、家づくりの原点。家族の絆を大切にしたいという思いが、家づくりの原点。



「家族を大切にしたい」という思いが、家づくりの原点。家族の絆を大切にしたいという思いが、家づくりの原点。

将来、家づくりやリフォームを考える人に役立つ住宅コーナー

これからの家づくり

家族がもっとつながる家

震災後、「家族を大切にしたい」「家族が増加している」

東日本大震災以降、家族の絆が見直されている。家づくりにもその意識が反映されてきて、個室や間仕切りを少なくし、できるだけ大スペースで家族が暮らせるような家を要望する施主が増えているという。たとえば吹き抜けにするなどで、2階にいながらにして1階にいる母親が料理をしている気配を感じられたり、天井部分にすき間がある壁にすることで、生活の音が伝わるようになっていたり。工夫次第で家族とコミュニケーションのとりやすい環境はいくらでも作ることができる。

次ページより、徳島で人気の工務店 亀井組と東四国ダイケンホームが提案する「家族がもっとつながる家」をご紹介します。早く家に帰りたくなる、積極的に家事や育児に参加したくなるような家づくりのヒントを見つけてください。

家族のつながりを強くする家づくりのコツ

コミュニケーションがとれるリビングにひと工夫



家のなかで家族が集まりやすいスペースといえばリビング。たとえばリビングに階段があれば、帰宅したときには必ずリビングを通らなくてはいけないので、自然と顔を合わすようになる。また、子どもがリビングで勉強できるような環境を整える、リビングに畳コーナーなど多目的スペースを作るなど、人が集まるためのアイデアはたくさんある。

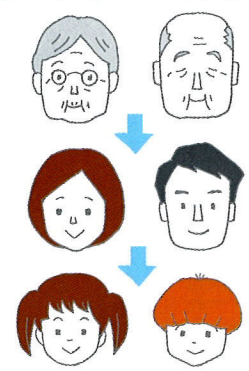
間仕切りが少なく大空間がとれる家



冬暖かく、夏涼しい家というのも家族がつながる家の特徴のひとつ。家が寒すぎる(暑すぎる)と、自室にこもりがちになり、コミュニケーションも取りにくくなる。そこで、高気密・高断熱の家なら、壁やドアなどの仕切りも少なくなるし、エアコンをかけて高い電気代を払わずとも、快適な温度・湿度を保つことができる。早く家に帰りたくなる家づくりの秘訣かも。

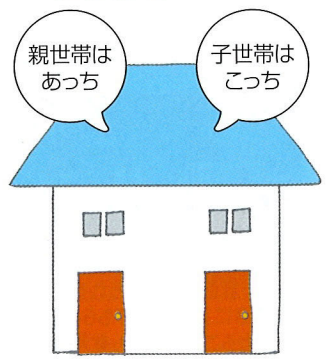
家を建てた段階の住人のことだけを考えるのではなく、将来増減するであろう家族構成のことを見据えた間取りを考えることは、世代を越えて「つながる家」の最大の特徴。いづれ増える子どものことはもちろん、将来同居するかもしれない両親のことも考えよう。家主が変わっても家は続いていく...そんな、自分たちが老夫婦になる20年後、30年後の未来の話をするのも大切なことだ。

世代が変わっても住み続けられる間取り



二世帯住宅も「つながる家」の代表格。親世帯と子世帯が完全に独立した間取りにするのか、それとも玄関だけは同じにしてそれ以外は独立させるのかなど、どの程度共有スペースを取るのか相談しよう。近年、経済的にも精神的にも二世帯住宅の需要が少しずつ高まってきており、親世代との同居のメリットが見直されている。

お互い助け合いができる二世帯住宅



100年間培った家造りの技術を 次の100年のために進化させる 亀井組によるテクノストラクチャー工法



家族のコミュニケーションの中心となるリビングダイニング。出かけるときや帰ってきたとき、必ずこの部屋を通るようになっているので自然と「いつてらっしゃい」「ただいま」から始まる会話が生まれるようになっている。

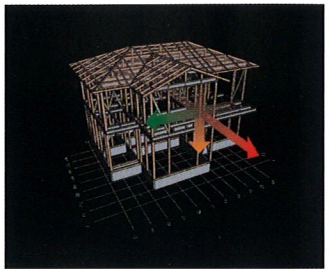
※写真は北島町北村モデルハウス



テクノストラクチャー工法とは、軽量鉄骨のH形鋼材の上下を集成材で挟んだ建材を梁部分に採用した工法のことです。強い耐震性が自慢のひとつ。

自由設計 家族のつながりを 感じるならセンターキッチン 地震対策は 構造計算でもバッチリ

家事や育児に忙しいママをサポートできるようにと提案しているのが、家の中心付近にリビング・ダイニングをレイアウトし、周辺にお風呂などの水回りを配置するセンターキッチン。ポイントはいつでも家全体を見渡せること。キッチンにいながら、家族がくつろぐリビングや浴室の様子が分かるようになっている。この家族のつながりを体感してもらえよう。家の設計段階からサポートしてくれる。またどんな間取りになっても構造計算を行い、柱や、梁の接合部や床の強度などトータルで388項目にわたってチェック。近い将来、徳島で起きるといわれる地震や台風など、総合的な災害シミュレーションが行われたうえで建てられている。



担当 三栖 伸一さん
ご家族みなさまが絆を感じて、快適に過ごせる住まいを提案いたします。ぜひ一度ご見学下さい。ご来場を楽しみにお待ちしております。

担当 岡田 眞治さん
木と鉄の良いポイントを上手く組み合わせたテクノストラクチャー工法の安心を、北島町北村モデルハウスで実際に感じてください。また家づくりについてご質問をお待ちしております。

完成見学会 北島町北村モデルハウス

センターキッチンの間取りをはじめ、亀井組が自信を持ってお送りするモデルハウスの見学会を随時開催中。いつでもスタッフが対応してくれるので、気軽に行ってみよう。



北島町北村東
蛭子41-14
朝10時～夜5時
水曜休
(スタッフ常駐)



亀井組
徳島市万代町6-20-2
088-625-2100
朝9時～夜6時
水曜休

安心保証 建てた後も家族を守る安心、 亀井組独自の保証システム

家を建てた後の5大保証がついているのも安心のポイント。5大保証とは、※1①一切のアフターサービス無償の「家の引き渡し後7年間まるごと保証」、②第3者機関と亀井組の2重チェックをすることで安心の「構造躯体、10年間保証」、③家を建てる前に徹底的に地盤調査確認をする「10年間地盤保証制度」、④木材にとっても最大の敵である「しろあり賠償責任補償10年」、⑤そして完成後1年間(3カ月、6カ月、1年目)の点検はもちろん、その後も住まいがある限り続く毎年1回の無料定期点検サービスだ。これらの安心保証は「家を守ることは、家族を守ること」を実現する基本コンセプトを具現化したもので、家族が安心して暮らせる家造りの基礎になっている。

安心の5大保証で心から安らげる住宅を目指します。

1 亀井組独自の まるごと保証 7年 引き渡し後7年間保証 一切の アフターサービス無償	2 住宅瑕疵担保 責任保険 10年 構造躯体は安心の 10年間保証	3 安心の 地盤保証制度 10年 地盤調査 地盤調査データの開示	4 しろあり 賠償責任補償 10年 10年間 最高500万円 まで補償	5 アフター サービス ずっと
--	---	---	--	----------------------------------

※1 ただし天災、震災および世帯主の過失による場合は除く

「家を守ることは、家族を守ること」。この大原則と創業以来100年以上の家づくりを行ってきた経験から「何が環境のために大切か」をゼロから見つめなおし、建築会社として子どもや孫の世代により良い環境を残すための運動を進めている亀井組。その第一歩として、2012年にはグリーンコンストラクションカンパニー企業として新たにスタートしている。グリーンコンストラクションカンパニーとは、100年後の世代や地域にできるだけ良い環境を残すための活動を地元や国内はもちろん国際的視点で行う会社のこと。その答えのひとつが北島町にオープンしたモデルハウス「AVANCER(アバンセ)」だ。こちらは※1長期優良住宅対応のテクノストラクチャー工法で建てられており、室内設備は安心のパナソニック製を採用。1棟ごとに構造計算を行い※2最高等級の耐震性能を持たせている。さらに間取りなどは自由設計なので、好みに合わせて柔軟に対応してもらえる。また、「施主様に安心していただけるよう最終価格表示を行なっています」とスタッフ。最終価格表示



暖かい雰囲気を感じられる外観。帰ってきたときに「ホッとしてもらえるように…」と、窓からこぼれる光も考えられている。

※1 長期優良住宅認定取得には、敷地条件や間取り、仕様などにより認定が受けられない場合あり。(認定には別途申請費用などが必要)
※2 住宅性能表示で求められる条件に適合するかどうか、パナソニック独自の構造計算によって確認した結果。敷地やプラン条件により等級が変わる場合あり。

とは、本体価格に太陽光発電、オール電化、屋外給排水工事費用、照明器具、建築諸費用、消費税を含めた建物最終引渡し価格のことで、追加要素がない限り価格が下がらないようになっている。さらに「7年間まるごと保証」「年1回の無料点検」といった亀井組独自の5大保証により、いつまでも家族が安心して仲良く住める家が建てられるようになっていくのだ。

すべての家に安心を
徳島で100年の家造り！
家族を守るための亀井組の新たな取り組み

